

# 「学校評価」結果のまとめについて（ご報告）

## 【結果の概要】

アンケート調査の結果を見ると、児童・保護者ともにすべての項目でプラス評価がマイナス評価を上回っている。日常行われている教育活動を継続していくことが大切であるといえる。

しかし、マイナス評価が大きい割合になっているいくつかの項目や、日ごろの教育活動から感じられることから、課題となっていることがある。それらをまとめると、次のようなことになる。

## 【学校生活について】

- 学校が楽しいと思わない否定的な回答をした児童、困ったときに先生に相談できないと回答した児童にしっかりと目を向け、児童一人ひとりをしっかりと見守っていききたい。楽しい学校、困ったときに頼れる先生がいる学校を、全職員で共通理解を図りながら作っていききたい。
- あいさつ運動については、児童会・PTA・地域の方々（東桂青少年健全育成会議）とも協力し合いながら、今後も取り組んでいきたい。

## 【学習について】

- 基礎的な学力が身につく指導、授業に集中させるための指導、子どもの考えを大切にしている指導については昨年同様高い評価を得られた。愛郷タイムや授業、フォローアップなどで基礎・基本の定着に努めてきた結果と考えられる。今後も、ICTの活用や日々の授業改善により、わかる授業の提供と、教師の指導力の向上に努めたい。
- 児童の結果からは「発言や質問、意見を言う」の肯定的な回答がやや低かった。考えを交流して友だちと学び合うことは、学力を向上させる上でも大切なことである。また、安心して発表がおこなえる雰囲気のある学級をつくっていくことは、互いを認め合うことにもなり、いじめのない学級づくりにも通じている。
- 保護者、職員ともに肯定的な回答が低かった「家庭学習」は学習内容の定着や学力の向上において大事な働きをしている。現状、家庭学習の状況には個人差が大きい。与えられた課題をやるだけでなく、学年に応じた取り組みで、自ら意欲的に自分に必要な学習に取り組む力を付けさせたい。生活習慣ががんばり週間の取り組みや、家庭学習の内容や方法を工夫し、保護者と連携してさらに家庭学習を充実させていきたい。

## 【生徒指導について】

- 学校のきまりや約束を守ることの指導は、いじめや非行行動に対する未然防止につながっていくと考える。否定的な回答をしている児童が昨年度に続き 6.0%から 7.4%へと増加している。学年やクラスのきまり、児童会や委員会での全校でのきまりなど、児童は学校生活の中でさまざまなきまりを守りながら社会性を身につけている。すべての教育活動を通して、きまりや約束を守ることについて、一層重点を置き指導に当たりたい。また学校では、いじめは絶対に許さないという毅然とした態度で指導にあたりたい。

以上のような課題から、今後東桂小学校で取り組む重点項目を次のようにまとめました。

- すべての児童が、学校が楽しいと思えるような『居心地のよい学校づくり』を進める。
  - ・児童会などの取り組みを活かし、学年児童会などを更に充実させ、一人ひとりの児童のよさを認め、自己有用感を高める活動を進める。
  - ・困ったときに教師に相談できるよう児童との信頼関係を築くとともに、SOSが出せる人権教育（自分も他人も大切にする）を進めていく。
- PTAや地域の方々とも協力して、『あいさつ運動』を進めていく。
  - ・児童会を中心に、今まで以上にあいさつ運動の取り組みを進めていく。
  - ・校内のあいさつ運動と連携し、保護者や地域（スクールガード）にもあいさつ運動のお願いをしていく。
- 授業中の発言や質問または意見を言う機会を増やすとともに、しっかり聞く態度を身につけさせ、『学び合う環境づくり』に努める。
  - ・基礎基本の定着を図り、「分かる授業」を進めていく。
  - ・授業の中で、考えを交流する活動を今まで以上に取り入れていく。
  - ・話している人が話しやすい環境作りを意識する。（反応する、話している人の方を向く等）
  - ・ICT機器の活用、学習支援SAT、放課後SAT、フォローアップ事業の活用を今まで以上に充実させていく。
- 『家庭学習』を充実させる。
  - ・「家庭習慣ががんばり週間」のさらなる充実を図る。
  - ・学年や学級単位でミニ強化週間を設け、家庭学習の定着を図る。
  - ・よい取り組みを、児童間や教師間で交流させる。
- 『きまり・マナーを守る』指導を徹底する。
  - ・みんなが気持ちよく生活するためのきまりであることを理解させ、遵守させる。
  - ・全職員および全児童が、共通理解のもとに徹底して取り組みを行う。
  - ・教師や地域の大人も自分たちの言動を意識し、常に児童の見本となるように心がける。
- 『いじめは絶対に許さない』という毅然とした態度で指導にあたる。
  - ・日常の観察や、情報交換を密にし、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に努める。
  - ・困ったときなど、誰かに相談できる人間関係づくりや、学級の雰囲気作りに努めていく。